

2022年10月26日

各 位

大和エネルギー・インフラ株式会社

浜松を中心とする低高圧太陽光バルクの取得について

大和エネルギー・インフラ株式会社（以下、「当社」）は加藤建材株式会社（以下、「加藤建材」）及びその子会社が保有していた一部の低高圧太陽光バルクの取得を完了したことをお知らせいたします。なお、太陽光バルクとは複数の太陽光発電所のポートフォリオのことを指します。

加藤建材は静岡県浜松市に本社を置く内装工事業者であり、同社グループがこれまで取得していた浜松市を中心としながら中部・近畿エリアに所在する太陽光発電所群の一部を当社が一括で購入したものです。対象発電所は82件、発電容量計16.7MWdcとなり、各発電所の開発・設計・施工を行った事業者は統一されておらず、その評価や取得後の管理においては株式会社CO2Oとの協業によって実現されるものになります。

本件は2019年に開始した株式会社エコスタイルとの協業に続く低圧太陽光発電ビジネスとなり、今後も新設・稼働済双方の低圧発電所取得に関するノウハウを蓄積し、更なるポートフォリオの拡充を目指して参ります。具体的には、全国各地の低圧太陽光を集約し、スケールメリットと分散効果を実現するポートフォリオの組成を進めます。また、これら資産の適切な管理・運営を通じて、個人向けも視野に入れた金融商品への転換を図ることで、大和証券グループ本社が掲げる経営ビジョンとも合致した形で「貯蓄からSDGs」へのコアコンセプトに則った資金循環の仕組みを実現して参ります。

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」に掲げる「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現を目指します。ステークホルダーの皆様と共に、SDGsやESGに資する取組みを通じた中長期的な企業価値の向上およびサステナブルで豊かな社会の創造に努めてまいります。

本件により達成を目指すSDGsの目標

- ・ 目標7：エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
本件投資を通じ再生可能エネルギーの導入を推進して参ります
- ・ 目標13：気候変動に具体的な対策を
本件投資を通じ気候変動及びその影響の抑制に貢献して参ります

以 上